

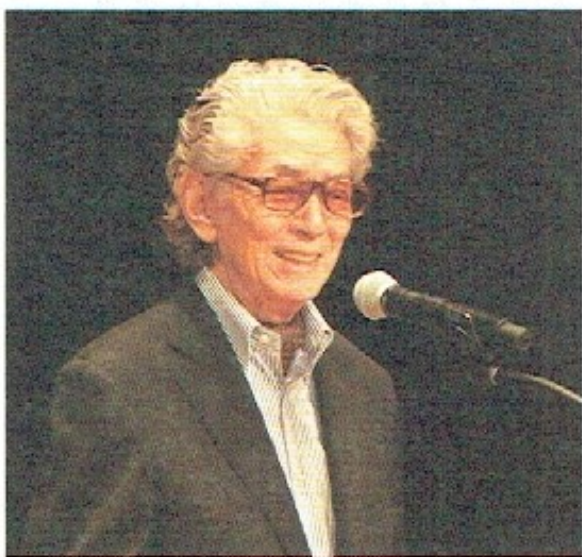
特別講演

「こころの風景」

作家 五木寛之氏



発行 平成27年1月1日
岐阜県仏教会事務局
岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内 電話296-7803
編集 出版委員会
1部送料共 80円



10月5日、県仏教会主催の特別講演会が岐阜市長良福光の長良川国際会議場で作家の五木寛之氏を招いて『こころの風景』をテーマに開催された。五木氏は『悲』に向き合いながら生きることの大切さを話された。

五木氏は昭和七年生まれでこの年は「満州事変」「五・一五事件」など歴史のテロが起り、日本も不景気で失業も多く激動の日々であった。又、後に『花の七組』という流行語が生まれた如く、この世代の人達が一九六〇年代に大活躍をした。大島渚さん、青島幸雄さんなどで、石原慎太郎さんは、七年の九月三十日生まれで五木氏と生まれた月日も同じということどこか共感するものがある、と話された。

超高齢化社会を迎え、諸問題が迫ってきている。百歳以上の方の八十八パーセントは寝たきりで要介護の状態にある。八割の人にとってベッドの上で介護を受けていることが果たして幸せであるか。私は「長く生きた人々の言葉を聞いてみたい。」百歳までの人間には思想が二つあっても良いのでは。青年、壮年、六十歳までの生き方と、六十歳から百歳までの生き方。医療制度の発達などもあり、私たちは死なせてもらえない。また、高齢者の年金は、家族にとっては生活の糧であったりする。何十年前に亡くなったとしても届出を出さないで、幽霊高齢者が増えるのではないかと。我が国は、未曾有の「超高齢化社会」に突入しようとしている。「どういう風に生きていくか」「どこまで生きていくか」という問題である。

「生きる」「死ぬ」についてきちんと腹をくくるといふことが宗教の意味であろうと思ふ。今までは「生まれてきてどう生きていくか」を考えてきたが、これから先は「どの世にこの世を去るか」「どのように自分で納得のいく死に方をしていくか」が大きなテーマになっていく。

「シルバー川柳」が書店で日につき、老人ホームの方の川柳で立ち読みした句が半年一年経っても覚えていて、「デジタルカメラは、どんな亀か」と「お迎えは、どこから来るの」と孫が聞く。「雑な、孫が喜ぶ救急車」などで、今、私たちは「どこまで生きるか」を真剣に問われている。生きることも大事であるが、どういう風にこの世から自分の意志で去っていくかが大変なような気がする。

時代を象徴するのが言葉であり、言葉を表すのが「字」であり漢字である。一九八一年の常用漢字の変更で「悠」という字が追加された。「悠々」と「悠然として」などで気持ちが大きくくつろぐことの意味で、その年は日本に心のゆとりが生まれたのではないかと。

数年前、第二回日の追加削除があったが、「呪う」「怨む」「怪しい」「闇」などで「暗い字ばかり」。その中でも「うつ」「鬱」はこの字を使わなければ時代を表現できないような時代がきている。過去にも「鬱」の時代はあって、平安時代末期から鎌倉時代初期、政権交代の時代で

その後、「法然」が出てきて、比叡山を降りて人々と直接対話を始めた。立場を捨てて庶民と会話をした。これは違法のことであったが、これによって、難しい話ではなかったが庶民大衆と僧侶が仏教を語る事ができた。法然は、いかなる悪人でも念仏を唱えて「阿彌陀如来」に心から祈ることで救われるとした。また、法然は、向こうからこちらにやってくる仏様がいて、それが「阿彌陀如来」である。我々悪人の所にやってくる。「一番苦しんでいる者たち、一番弱い者たちから救うので名前を呼びなさい」と、それが念仏であり、人は救われるとした。自分は地獄に行くと思っていた人たちは競って法然のもとを訪れた。死んだあとには救われるという確信をもつことができた。そして十二世紀から十四世紀ごろにかけて、法然、日蓮、道元、栄西、蓮如などの宗教



家が一斉にできてきた。不思議なことである。今、「鬱」の時代に生きる上で考えられないこととは、「鬱」として「鬱」を悪としてみならず、殺生していた人が自分を悪人と考え、地獄に行くしかないという悩みであったことが正しい悩みであるように、「鬱」を感じることでも決して悪いことではないのではないかと。『慈悲』という言葉があるが「慈悲」は明るく、ヒューマンなフレンドリーな面が強調され、「悲」という面がなおざりにされてきたのではないかと。「鬱」とどう向き合うのか。笑いでなく、積極性プラス志向でもなく、「悲」といふものをしっかりと理解すること、で、「鬱の時代」に落ち入らずに生きていくのでは。「超高齢化社会」の中で気持ちが「鬱」っぽくなっていく中で「鬱」の本質の中にある「悲」大きな心・意志を見つけて生きていくことができないか。

また「積極的に、前向きにため息をつくこと」によって、「鬱」は癒されるのでは。地道に積み重ねながら私たちは来たる「超高齢化社会」を生きていかなければならないのでは、と話された。続いて、県仏教会会長で浄土真宗本願寺派前総長の橋正道元、榮西、蓮如などの宗教

新聞朝刊などで連載された小説「親鸞」シリーズについて対談された。五木氏は北朝鮮からの引き揚げ体験から、自分はエゴが強い悪人だとの後ろめたさがあり、親鸞の教えに興味を持ち、執筆を終えた心境を「偶像化せず、人間親鸞を描こう」と考えた、若い人には「おやど」と読む人もいるくらいで読み方を伝える役目は果たせたいと思う」とユーモアを交え話された。



旋風打

▼炬燵とミカンと子供がたくさん集まれば、ゲームが始まるのがお正月の定番だった。このゲームは今のパソコンやスマホのゲームでは無く、トランプやサイコロを使ったゲームである。

▼絵双六は、サイコロを振って目の数だけ進むが、止まったところに指令があり、休みや振出しに戻るなど、ハラハラドキドキしてサイコロを振ったものである。

▼最古のものは室町時代のお坊さんが作った浄土双六で、止まる所に仏教の教えが書いてあったそうである。

▼双六で止まったところには、不条理な指示や思いがけない落とし穴があったりして、子供心に、現実感があり熱中してしまう。わがままな子どもは、あがり寸前に振出しに戻されると盤をひっくり返したりして怒る子もいたものだ。

▼人は思い通りにならないとその状況を受け入れることが出来ない。

▼会社が合いませんでしたと言つてやめる新人社員も多いと聞く。けれども、その心の裏には、「会社が私に合わせてくれませんでした」と言う怒りが見え隠れする。双六も人生も会社も世界も天気も自分の思い通りにならないのが普通なのである。

▼実は、人生の仕事も、子育ても、全ては、心を磨く道具であり、その難所を受け入れて乗り越えてゆくことが心を磨いてゆくことになる。

▼もし、人生をゲームとして楽しめるならば、不思議に勇氣が湧き、全てに挑戦できるような気がするのではあるが、どうだろうか。

岐阜県仏教会事務所移転のご案内と協力金のお願い

謹啓 御尊台愈々ご清祥のことと慶賀に存じ上げます。

平素は仏教会活動にご協力ご支援賜り厚く御礼申し上げます。

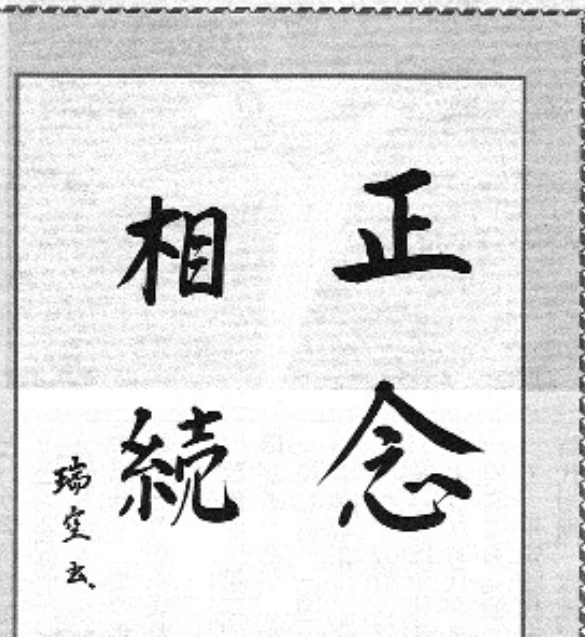
岐阜県仏教会の事務所は長らく県庁内に置かれていたが、戦後瑞龍寺に移転され、そして善福寺へと移転しました。瑞龍寺時代は、宗教法人法が施行され、各市郡仏教会から送られてくる宗教法人認証申請の点検と修正、所轄庁や法務局への申請等多難な時でありました。又、善福寺時代は、第十五回全日本仏教会岐阜大会をはじめ数々の大会が開催され、さすが仏教界と社会的評価を得た時代でありました。その後、現在の岐阜別院(西別院)へと移転し今日に至っています。

現在の岐阜別院(西別院)へ移転しお世話になって今年で三十五年になります。この間第三十三回全日仏岐阜大会、サイパン南浜堂の建立、終戦五十回忌平和の梵鐘鑄造の折には全寺院のご協力により県下九十九市町村を二ヶ月かけて巡行しサイパン南浜堂に安置し二百五十名の参加者によって撞き初め、五十回忌の法要が厳修されました。

平成七年には栄叡大師座像を中国より迎え、美濃加茂市正眼寺に安置し毎年六月には正眼寺に於いて顕彰法要が厳修されております。又、隔年ごとに海外親善法要団の派遣、国内各宗本山巡拝等が実施されてまいりました。

このたび岐阜別院におかれましては、宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の記念事業として本堂修復・岐阜教区教化センターの建設等が計画され、現在進行中であります。

岐阜県仏教会は、事務所として「在会所」をお借りしていますが、老朽化等の為取り壊されることとなって、岐阜県仏教会事務所の移転の申し入れがありました。その後、岐阜別院様にお借りを重ねて、このたび座裡の一部をお借りする運びとなりました。これもひとえに岐阜別院様のお取り計らいで誠に感謝することであ



正念相続 (しょうねんそうぞく)

「平家物語」で妓王が歌う
 「仏も昔は凡夫なり 我らもついには仏なり
 いずれも仏性具せる身を 隔つるのみこそ悲しけれ」
 植木等の「スーダラ節」
 「わかつちやいけるけど止められない。」
 とともに大らかに人間を謳い上げている。
 根底にはお釈迦様の心が窺われる。
 生命を繋げる身にあつて共に忘れないでいたいものです。

羽島郡仏教会会長 善光寺 志智 慈朗

岐阜県仏教会事務所移転のお知らせ

県仏教会の事務所は平成二十六年十二月一日から、今までの岐阜西別院内在会所から、北隣の岐阜西別院庫裡に移転いたしました。

事務所入口は、座裡の北の端になります。
 入口の前には、案内の看板を設置いたします。



郵便局振込用紙の記入事項

口座番号：00800-2-23550
 加入者名：岐阜県仏教会事務局
 通信欄：岐阜県仏教会事務所 移転の協力金
 1 口：3,000円 (何口でも可)

ります。この移転には改装と移転費用が掛かりますことご理解ください。

岐阜県仏教会事務局が引き続きこの地にお借りでき、安定して事業推進できることは大変ありがたいことです。

そして今迄も好意的にお借りしておりますことを配慮して各位にお願ひ申しあげる次第であります。

岐阜別院の記念事業の推進に岐阜県仏教会も微力ながら協力させていただきます。発起人一同より県内のご寺院様へ一口(三千元)以上の岐阜県仏教会事務所移転費用のご協力をお願い申しあげる次第です。更に恐縮ではございますが、檀信徒会、ならびに有縁の方に本趣旨に向けて格段のお力添えを賜りたく「振込用紙」にて平成二十七年三月末までににどうぞご協力を賜りますようお願い致します。

平成二十六年 合掌

栄叡大師奉賛会へご加入をお願い致します

栄叡大師が、中国からお里がえりをされ、そのお像が伊深正眼寺にご安座されて20年を迎えます。爾来、栄叡大師奉賛会では、大師を讃仰しながら楽しい中に心豊かなみのりの集いを行っています。

ぜひ、お誘い合わせの上、ご加入をお待ち致しております。

- ★特典
1. 個人会員 (年会費1万円)
正眼寺法要又は日帰り参拝旅行のどちらか無料。
 2. 法人会員 (年会費5万円)
正眼寺法要と日帰り参拝旅行の両方無料。

仏教会行事への参加

- ①花まつり月間に参加しましょう
4月から5月にかけて、釈尊降誕花まつりが各地で盛大にはじまります。お子様やお孫様とぜひ参加しましょう。私達にも、子供の頃頂いた甘茶の行事がなつかしく思い出されます。
- ②最寄りのお寺で「平和の鐘を鳴らしましょう」運動に参加を
8月15日、終戦の日。県民全員で鐘を撞く日です。
- ③「お経を習いましょう」運動に参加を
毎年7月と8月各お寺でお経を教えています。「祖先を敬い、父母を大切に明るい家庭をさずくために」お子様やお孫様とぜひお出かけ下さい。
- ④仏教聖典の普及
仏教伝道協会では、世界のホテルに500万部の聖典を寄付しています。私達も世界平和と人々の心の安らぎの為、県民一人一冊普及運動を推進しましょう。

法衣・仏具・稚児貸衣裳

総合アドバイザー

鷺見法衣仏具店

岐阜市光町1丁目(忠節駅北)
 TEL・FAX (058) 232-2306

寺院仏具 (各種記念品) 製作・販売

有限会社 天真堂

中央社寺工藝社

〒451-0031 名古屋市西区城西1丁目10番21号
 TEL (052) 532-0607
 FAX (052) 532-0608

※軸表装・頂相・天井絵・古軸修理など承ります。

各宗派仏壇仏具・寺物設計製造・仏壇修理洗濯

岐阜東別院南

(有)宮本佛壇店

〒500-8061 岐阜市小熊町2丁目
 TEL (058) 263-0773

各地の動き

最近、衣の下につける「白...」がなぜか長く感じられま...

理庵法話「白髪」 松久宗心

「我頭生白髪、寿命転衰減...」 天使已来至、我今学道時...

私にとつて今こそ道を学ぶ時...」 そう言つて王様は位を王子に譲り、ご自身は仏道修行に専念するようになりました。

多治見仏教会 十月二十八日... 多治見セラミックパーク M.I.N.O.国際会議場

市橋校区檀信徒会 七月九日... 鷺山校区檀信徒会 七月下旬

本荘校区 檀信徒会 七月九日... 方原校区檀信徒会 七月九日

毎月8日は「こころの日」 推進運動にご賛同をお願いします... 毎月8日はこころの日 ハートフルデー 真のこころにめざめよう

羽島市仏教会

十二月一日 歳末助け合い托鉢 於 竹鼻町内

清見町仏教会

八月二十四日 戦没者追悼法要 於 清見海洋センター

郡上市仏教会

七月二十八日、八月九日 十三ヶ寺巡り 暁天の集い 於 弘誓寺

多治見仏教会

七月十五日 精霊送り 於 多治見橋付近

羽島郡仏教会

八月十五日 平和の鐘 各寺院

多治見仏教会

七月十五日 精霊送り 於 多治見橋付近

関ヶ原仏教会

十月九日 戦没者追悼法要 於 陣場野公民館

大垣市仏教会

八月一日、五日 暁天講座 於 ヤラミックパーク

高山市仏教会

七月二十一日 夏季写真会 於 高山別院

揖斐郡仏教会

十月六日 戦没者追悼法要・講演会 於 善福寺

白川町仏教会

八月十八日 天心白菊の塔慰霊祭 於 白川町河岐

瑞浪市仏教会

九月六日 坐禅と講演会 於 宝昌寺

神岡町仏教会

十月十七日 戦没者追悼法要 於 洞雷寺

美濃市仏教会

八月一日 川端地蔵尊 夏の法要 於 美濃市内

高山市仏教会

九月十九日 彼岸・災害義援托鉢 於 高山市内

七宗町仏教会

九月二十九日 檀信徒会 於 神通寺

可児市仏教会

十二月二日 托鉢 於 可児市広見

岐阜市仏教会

七月九日 島・城西校区檀信徒会 於 真蔵寺

黒野校区檀信徒会

七月二十五日、二十七日 お経を習いましょう 於 各寺院

金華校区檀信徒会

八月下旬 お経を習いましょう 於 岐陽院・善光寺

厚見校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 順勝寺・正福寺

本荘校区 檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 西福寺

方原校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 西福寺

網代校区檀信徒会

七月、八月 お経を習いましょう 於 西福寺

加納東校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 安養寺・教徳寺

七郷校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 靈松院

白山・華陽校区檀信徒会

七月二十七日 華陽校区戦没者追悼法要 於 善林寺

常磐校区檀信徒会

七月下旬 お経を習いましょう 於 各寺院

三里校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘・万霊供養塔法要 於 各寺院

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺

岩野田校区檀信徒会

七月九日 平和の鐘 於 慶善寺



独演する林家染二さん

鷺山校区檀信徒会 七月下旬 お経を習いましょう

方原校区檀信徒会 七月九日 平和の鐘

毎月8日は「こころの日」 推進運動にご賛同をお願いします... 毎月8日はこころの日 ハートフルデー

新年 賀 謹

〒500-8882 岐阜県仏教会・栄叡大師奉賛会 TEL 058-266-7803 FAX 058-214-4081

岐阜信用金庫 岐阜市神田町六	(株)岐阜新聞社 岐阜市今小町九	立正佼成会 岐阜教会 岐阜市琴塚二	亀山建設(株) 関市稲口一〇三七	(株)大野春堂 岐阜市早田大通り一	(株)大垣共立銀行 大垣市郭町三
長谷虎紡績(株) 羽島市江吉良町一九七	(株)トーカイ 岐阜市若宮町九	学校法人 杉山学園 岐阜市村里町二二	昭和コンクリート 工業(株) 岐阜市香蘭一	(株)十六銀行 岐阜市神田町八	(株)国井組 岐阜市一日市場一
真福寺 岐阜市長良二四九二	金證寺 山県市洞田五三三	大龍寺 岐阜市栗野二二三九	河野西福寺 岐阜市島田西町八五	圓勝寺 本巢市金原三五〇	(株)マルエイ 岐阜市入舟町四一八一

出版局長 岐阜市 松久宗心 珠泉院	事務局長 山県市 横山善道 金證寺	監事 羽島郡 志智慈朗 善光寺	監事 美濃市 近藤利尊 教泉寺	理事 武芸川町 飯沼宗格 瑞安寺	理事 白川町 宇都宮直人 豊川寺	理事 七宗町 田尻和光 龍門寺	理事 川辺町 金澤康年 金昌寺	理事 下呂市 三木昌栄 東泉寺	理事 飛騨市 西森英開 願念寺	理事 恵南町 龍田無名 玉泉寺	理事 大野郡 高島外成 常徳寺	理事 荘川町 照元興圓 浄念寺	理事 清見町 鈴山高彰 西方寺	理事 朝日高根町 小倉喜信 円城寺	理事 丹生川町 小林孝明 慈雲寺	理事 揖斐郡 筑間達朗 長寶寺	理事 安八郡 新田直明 看寺	理事 不設郡 星津英昭 玉照寺	理事 養老郡 安福慶雅 安福寺	理事 海津市 永木節男 西願寺	理事 可児市 松永貫道 潮音寺	理事 土岐市 菊知昌侃 長久寺	理事 瑞浪市 中野啓一 正宗寺	理事 羽島市 浅野一恵 慶善寺	理事 上田宗演 元昌寺	理事 名和秀憲 善教寺	理事 大垣市 岩水龍峰 林陽寺	理事 岐阜市 杉阪徹英 大国寺	常任理事 神岡町 石神明 願蓮寺	常任理事 不破郡 山田亮寛 藤樹寺	常任理事 郡上市 平山鉄洋 長栄寺	常任理事 恵那市 久翁泰方 源長寺	常任理事 中津川市 杉山令憲 順勝寺	副理事長 岐阜市 富樫優王 佛眼院	副会長 各務原市 日野紹運 正覚寺	副会長 関市 新村雅芳 久昌寺	副会長 高山市 峰 曉信 正圓寺	副会長 大垣市 橋 正信 円勝寺	会長 本巢市 寺町研山 大龍寺	顧問 岐阜市 橋 正信 円勝寺
----------------------------	----------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------	-------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------

あたらしく
毎日を生きる

真宗大谷派
岐阜別院

輪番 橘 秀 憲

岐阜市大門町一番地
電 岐阜 二六二一三三八〇

浄土真宗本願寺派
本願寺岐阜別院

輪番 河村 信 昭

岐阜市西野町三丁目一番地
電 岐阜 二六二一〇三三一

臨濟宗妙心寺派
瑞龍寺

清田 保 南

岐阜市寺町十九番地
電 岐阜 二四六一二五九七